

情報元：南海日日新聞社  
日付：令和3年7月30日

## バイク通学無事故で金賞

### 県優秀安全運転事業所表彰

### 2年連続、奄美唯一選出

### 沖永良部高校

【沖永良部総局】県立沖永良部高校（釜屋津一校舎、生徒300人）は、このほど、交通事故防止に貢献したとして優秀安全運転事業所・金賞を受賞した。県警本部長、自動車安全運転センター理事長の連名表彰。金賞（県内21事業所）は最高賞のプラチナ賞（同3事業所）に次ぐ賞で、奄美群島内では唯一同校が選ばれた。同校の金賞受賞は2年連続。



運転者の運転免許の行政処分、交通違反、交通事故の記録を証明する「運転記録証明書」を活用した安全管理を行い、安全運転、交通事故防止に成果を上げた事業所を対象に年一回表彰するもの。

沖永良部高校では全校生徒の約9割がバイク通学で、毎年生徒に同証明書を提出してもらい、安全運転への意識を高めている。同校によると、2024日間無事故が続いている。

20日、沖永良部署で表彰伝達式があり、上井正一郎

沖永良部署の上井署長（左）から表彰状を受け取る沖永良部高校の野崎教頭（右）と、同署

署長が同校の野崎進作教頭に表彰状を手渡した。野崎教頭は「2002年に生徒の死亡事故が発生して以来、毎月17日を交通安全の日と定め、意識付けをしている。そのつと生徒には注意を呼び掛けているが、今回の受賞は、生徒たちにとっても意識を高めることにつながる」と話した。

式後、同署の若ケ迫典昭次長は「運転記録証明書を島民の皆さまに知っていたら、それを活用して一人一人が交通事故防止に努めてほしい」と話した。